

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床実習Ⅱ		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
駒形 純也 他	D309	j.komagata	火曜日 9:00～11:00		
授業の目的・概要	理学療法士としての基本的な資質を身につけ、理学療法で対象となる代表的な疾患に対して、各疾患に応じた検査測定の意味の理解と施行できるようになる事を目的とする。				
学習上の助言	検査測定の意味の理解と施行できるようになることが目標であるが、検査測定技術だけではなく解剖学、運動学、生理学などこれまで学んできた科目全般の知識が必要となるのでしっかりと復習しておくこと。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	職業人としての望ましい態度・行動ができる。			PT(1)、(4)	
②	対象者に合わせた評価を選択し実施することができる。			PT(1)、(3)、(4)、(5)	
③	評価記録を作成することができる。			PT(3)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
<p>実習日程</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床実習Ⅱは、学内にて3週間の実習を行う。 開講時期は冬期休業期間 2022 年 1 月～3 月中を予定している。 実習詳細は、11 月または 12 月に説明会を開催する。 <p>実習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 整形外科疾患、中枢疾患に必要な検査項目を挙げ、検査を行う理由について考える。 整形外科疾患、中枢疾患に必要な検査手技の実技練習を行う。 3 週目に、検査測定等の実技試験を行う。 					

学習課題・学習時間
解剖学、運動学、生理学などを復習し、実習時のレポートを作成の準備を行うこと。
必要時間 (単位: 時間): 75 時間

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	20	20	0	0	
総合 力 指 標	知識・技術力	10	5	0	0	0	15
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	5	10	0	0	25
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	10	0	10	0	0	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	実技試験では、患者の誘導、リスク管理、インフォームドコンセント、検査手技の正確性等を評価する。				試験終了後合否の判定を行い不足部分は担当教員がアドバイスをを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		整形疾患や中枢疾患に対する検査測定に関するレポート作成を行う。レポートの評価基準表を配布するのでよく読んでからレポートを作成すること。				レポートの返却時に、フィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	整形疾患や中枢疾患に対する検査測定に関するレポートをもとに、発表を行う。発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				発表を聞き、その場でフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。</p> <p>担当教員：◎駒形 純也、高村 浩司、三科 貴博、粕山 達也、関口 賢人、玉木 徹、坂本 祐太、遠藤 悠介、大塚 篤也、関根 聡美</p> <p>教員の実務経験：理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容：臨床現場で使用される検査、測定方法について、臨床経験に基づく視点から指導を行う。</p> <p>感染対策：大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は授業の参加は認めない。</p> <p>同時双方向型授業では Teams を使用する。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性がある</p>							